

POWER FILE ★ 1143 FM 94.9



宵山、宵々山の恒例！ステーション設置とうちわ配り。

四季折々の京風景を“音”と“声”でお伝えしているKBS京都ラジオ。毎年7月になると、地元ならではの視点から祇園祭にアプローチし、クライマックスである山鉾巡行の中継レポートをはじめ、関連行事や山鉾町の様子なども随時ラジオから発信しています。さらに祭情緒がひととき高まる前祭の宵山・宵々山には、山鉾町に交流拠点を設置。「KBS京都祇園祭ステーション」の開設とオリジナルうちわの配布を通じて、みなさんとふれあい、ともに祇園祭を楽しんでいます。

いつもより早く梅雨が明け、酷暑に見舞われた今夏。厳しい暑さのなかでも、ラジオがたくさんの人と交流した2日間となりました。

山鉾町にオープンした、ラジオと人の交流拠点。

7月15日(日)・16日(月)に開設された「KBS京都祇園祭ステーション」。この夏はこれまでと場所を変え、白樂天山近くの仏光寺新町東入りに



あるクラーク記念国際高等学校京都キャンパスにオープンしました。KBS関連グッズ販売や協賛企業のブー



スを設置し、サンプリングも実施。山鉾町を散策中の方々に、気軽に立ち寄りいただけるスポットとなりました。

両日ともにラジオカーリポーターがステーションを訪問。初日は佐藤桃子が「日曜ワイ

ドわれら夢の途中」(日/9時～12時)へ、翌日は井川菜代が「森谷威夫のお世話になります！！」(月～木/10時～13時55分)へ、祇園祭に沸く街の様子とステーションの賑わいを発信しました。「レンタルブティックみとみ」のご協力により、浴衣姿でのレポートとなった二人。残念ながらラジオではその姿は見えないものの、ステーション前の人々に涼やかなりレポート風景を披露しました。



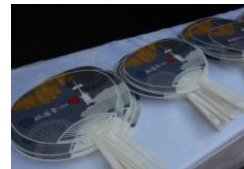
ラジオと人が出逢う夏。祇園祭に沸く京の街へ。

涼しげにおしゃれに山鉾町めぐり。今夏うちわは大好評！

ステーション開設と同じ日程で行われた、オリジナルうちわの無料配布。毎年、たくさんの方々に楽しみにしていただいでいる



大好評の企画です。今年は、淡い紫をベースに金が映える上品なデザイン。もちろん、そぞろ歩きに便利な山



鉾マップもついています。こちらは例年通り、菊水鉾周辺で実施。うちわを目当てにお越しいただいた方や道行く方ター一人ひとりに、浴衣姿の

スタッフが手配りました。

宵山には、井川菜代が配布スポットを訪れ、スタッフやうちわを手にした方々へインタビュー。その模様を「お世話」の中でお伝えしました。体温を超える暑さでも、祇園祭を楽しみにやってきました人たちの声を



耳にして、祇園祭の偉大さ、魅力を感じずにはいられないひととき。うちわ配布を喜ぶ声も、印象的なり

ポーとなりました。

酷暑の影響で人出が心配されたものの、うちわは今年も大好評を博し、2日間約3万5千枚を配布しました。

KBS京都にとって、普段はラジオを介したおつきあいの京の人々やリスナーと、直接交流できる貴重な機会となっている祇園祭。来夏も京都に脈打つ歴史と伝統に寄り添いながら、たくさんの人とふれあい、京都の夏を盛り上げる企画をお届けしたいと思います。

